

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【なす】 高知県 大野さん

**一年近く続くなす栽培の線虫防除に貢献。
栽培初期に発生する地上部害虫も減少。
天敵の働きも邪魔しないから安心。**



調に育つと思うので」と、丁寧に作業を積み重ねています。

そうした土づくりと並んで欠かせないのが、定植前の線虫対策です。過去にはネマトリンエース粒剤や他剤を切り替えながら使っていたそうですが、他剤を使用した際に線虫被害に遭ってしまったといいます。「なすの樹が一行萎れてしまい、ボケ果ができたり、完全に枯れてしまった樹もありました。そうなってしまっではもうなすすべがなく、定植前の防除で線虫をしっかり抑えておくことの大切さを痛感しました」。この出来事の後から、線虫防除の仕方を変えたそうです。「土壌消毒剤を2年使用したら線虫被害が減りました。さらに、ネマトリンエース粒剤に切り替えてから現在まで、線虫密度を低いまま抑えられています」と、効果を実感しています。

線虫だけでなく、栽培初期の コナジラミ、アザミウマにも効果を実感。

ネマトリンエース粒剤の効果は、土壌に潜む線虫以外にも現れているといいます。「栽培初期のオンシツコナジラミやミナミキイロアザミウマの発生は他剤と比べてとても少ないです」。また、高知県は天敵の利用が盛んな地域としても知られています。もちろん大野さんも多くの天敵を利用しており、その点でもネマトリンエース粒剤のメリットを実感しているそうです。「放飼しているタイリクヒメハナカメムシなどの天敵に対して、ネマトリンエース粒剤の影響はほとんどないと私は思います。ネマトリンエース粒剤を使うことで初期の防除作業を減らすことができ、天敵も定着しやすくなります。これら天敵の働きもプラスされて、地上部害虫はしっかり抑えられています」と、教えてくれました。

天敵の中でも扱いや定着が難しい天敵を使用するなど、資材選びにはこだわりを持つ大野さん。その中でもネマトリンエース粒剤は、一年近く続くなす栽培の土台を守る資材として、欠かせない存在になっています。

※取材時(2025年11月)における個人の感想をもとに作成しています。



※剣は合成です

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



「使用者の声」は
webでもご覧
いただけます